



広げよう コミュニティの輪

彩の国コミュニティ協議会

第37号 2012.8



彩の国コミュニティ協議会
マスコット
「サイコミ君」



CONTENTS [主な内容]

- P2 **日本一の共助県を目指して!**
～埼玉県の「支え合い」～
- P3 **共助 ～支え合う地域社会を目指して～**
●みやのかわ商店街「地域支え合いの仕組み」
新規会員紹介
●みずほ証券株式会社 浦和支店
- P4 **平成24年度定期総会開催報告**
●会長あいさつ
●役員表彰・共助事例発表会

彩の国コミュニティ協議会

会員&賛助会員 募集!!

コミュニティ活動をさらに活発にするために、協議会の趣旨に賛同し協力していただける新規会員、賛助会員を募集しています。入会、お問い合わせについては当協議会事務局まで御連絡ください。

会 員	■ 対象：企業・団体
	■ 会費：企業1口 5,000円を2口以上 団体1口 5,000円を1口以上
賛助会員	■ 対象：個人
	■ 会費：1口 2,000円

賛助会員だけの 入会特典
入会記念として
サイコミ君のストラップと
プリズム反射シールをプレゼント!



お知らせ 「プチ情報」への情報掲載を希望される会員の方を募集しています。詳細については事務局へお問い合わせください。



日本一の共助県を目指して！

～埼玉県の「支え合い」～

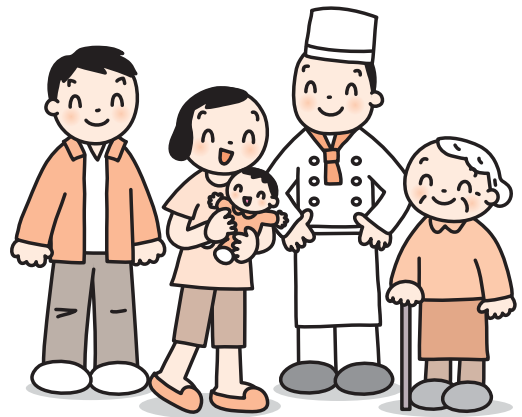
東日本大震災をきっかけに、私たちは地域社会や「きずな」の大切さを強く認識しました。近い将来には人口が減少し、そして高齢化が急速に進むと予想されています。既に、孤立死や孤独死などの痛ましいニュースを耳にすることも多くなりました。だからこそ、地域のきずなを軸に「みんなで助け合う、支え合う」気持ちと、具体的な取組が重要になっています。

◆「共助」って??

耳慣れない言葉ですが、意味は、読んで字のごとく「共に助け合うこと」です。

何か困りごとがあるときに、自分でできることは自分でする「自助」、行政などの公が対応する「公助」、そして地域で互いに助け合う、これが「共助」です。

埼玉県は、「支え合うあたたかい気持ち」が原動力の「共助」が、日本一盛んな地域社会づくりを進めます。



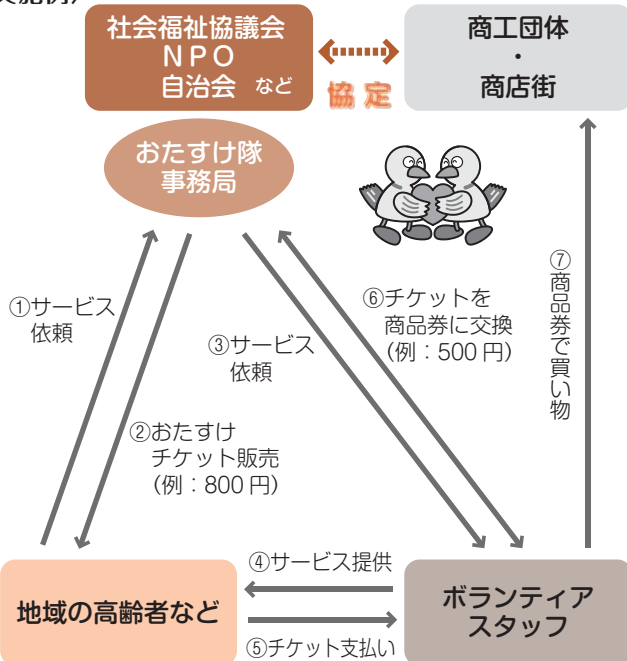
◆進めます！「共助社会づくり」

埼玉県は、様々な「共助」に関する取組を拡大し、「日本一の共助県」を目指します。

既に「わがまち防犯隊」や「川の国応援団」など、多くの共助の取組を行っています。このような取組を一層充実・普及させます。さらに、新たな共助の取組も進めていきます。

また、共助の取組が盛んになるためには、その担い手が増え、活動が活発になることが必要です。共助の担い手は、NPO、企業、自治会など多種多様です。様々なチャンネルで情報を発信したり、活動への支援を行います。

〈実施例〉



◆拡げます！「地域支え合いの仕組み」

元気な高齢者などのボランティアが、助けを必要とする地域の高齢者の困りごと、例えば「電球の交換、庭の草取り、病院への付き添い」などを手助けし、そのお礼を地域商品券で受け取る。埼玉県では、この仕組みを「地域支え合いの仕組み」と名付け、日本一の共助県の代表的な取組となるよう、推進しています。

ボランティアを行う元気な高齢者の「介護予防」、助けが必要な高齢者の「生活の安心・安全」、そして地域商品券を使うことで地域の商店を元気にする「地域経済の活性化」、この取組は、一石三鳥の取組です。

8月1日現在、県内34の市と町で実施中です。県はこの取組を全市町村に拡げていきます。皆さんも、ぜひ御参加ください。

埼玉県共助社会づくり課共助づくり担当【TEL】048-830-2815

※ホームページもご参考ください。 <http://www.pref.saitama.lg.jp/site/sasaeai/>





～支え合う地域社会を目指して～

東日本大震災以降、地域の「絆」や「つながり」の大切さが改めて認識され、地域社会が本来持っている助け合いの再生が強く求められています。

そこで、様々な主体が連携・協働して行う共助の取組について御紹介しますので、活動の参考にしてください。

みやのかわ商店街 「地域支え合いの仕組み」

秩父市商店連盟連合会会長 島田 憲一 氏

【ナイトバザール】

みやのかわ商店街が有名になったきっかけは、昭和60年10月から始めたナイトバザールです。これまで253回続いています。イベントの内容を毎回変えることで、次は何をするのだろうと多くの人に集まっています。継続することで、まちづくりにもつながっていきました。

【買い物代行・出張商店街「楽楽屋」】

障害者の方と話をする中で、買い物代行の仕組みを思い立ちました。普段は利用しない商店に無料で配達してもらうのでは頼みにくいと言うので、配達料をいただいて実施しています。また、特別養護老人ホームを訪れた際、欲しいものを届けてもらうだけではなく、買い物を楽しみたいという要望が出たため、出張商店街「楽楽屋」という事業も始めました。利用者の方が本当に嬉しそうに買い物をする姿を見て、私たちは利益を得る以上のやりがいを感じています。

【ボランティアバンクおたすけ隊】

県や市の福祉関係課の職員から秩父郡市では高齢者が3万人以上いて、要介護認定者は5千人を超えるという話を聞きました。私たちは2万5千人も元気なお年寄りがいるのだから、地域のために何かできるのではと思いました。買い物代行の経験から有料の方が頼みやすいと思い、困りごとのある方からは1時間の手助けに対し800円をいただいています。商店街（おたすけ隊事務局）は300円を手数料として受け取り、ボランティアには500円の地域商品券を渡しています。この事業に上田知事が注目し、私たちの商店街をモデルとした共助の仕組みが県内に広まっています。手助けを必要とする人は、ボランティアの方々と話をするのも楽しみになっているようです。ボランティアの方々も、社会とのつながりを実感できると喜んでいて、最近では古い商人宿を改装した「ほっとすぽっと秩父館」をつくり、憩いの場として地域コミュニティに役立てています。

一生懸命に頑張る人が数人いると6～7割の人がついてきます。コミュニティ協議会に参加している皆さんは、地域のために頑張っている方々だと思います。そういう一生懸命な人を育成していくことにより、地域コミュニティは良くなっていきます。ぜひ私たちの活動も参考にしてください。



彩の国コミュニティ協議会共助事例発表会で講演する島田会長

新規会員紹介 彩の国コミュニティ協議会に、新しいメンバーが加わりました！

みずほ証券株式会社 浦和支店

私ども「みずほ証券株式会社 浦和支店」は、1976年の開設以来、浦和近郊のお客様に支えられてきました。県下には現在2店舗を構え、きめ細やかなサービスに努めております。

みずほ証券は、個人のお客様へ、金融商品・投資情報のほか、グループ各社との連携を通じ「みずほ」の専門的かつ高度な金融サービスも提供しています。

また、多様化するお客様のニーズにお応えするため、インターネット及びコールセンターを重要なサービス機能と位置付け、商品ラインナップの拡充、投資情報提供機能の充実に努めてまいります。

法人のお客様には、運用商品等の提供による資金運用をはじめ、事業戦略に的確にお応えするための専門的かつ高度な投資銀行ソリューションを提供しています。

また、地域社会とともに歩む「良き企業市民」としての役割を果たすべく、福祉団体への寄付やNPO法人と協力の活動等、多くの社員が参加して様々な社会貢献活動を積極的に行っています。東日本大震災の際にも義援金や物資の提供など支援活動等に社員8千人が参加しました。

今後も、一層のサービス向上に努めてまいりますので、御支援、御愛顧をよろしく申し上げます。

所在地 ▶ さいたま市浦和区仲町2-1-1 電話番号 ▶ 048-829-2241



平成24年度 定期総会開催報告

平成24年6月14日（木）、平成24年度定期総会を開催し、多くの方々に御出席いただきました。役員表彰や埼玉県の取組紹介、事例発表会が行われたほか、平成23年度事業報告や平成24年度事業計画等について審議が行われ原案どおり承認されました。

会長あいさつ



会長の上田知事と
彩の国コミュニティ協議会
マスコットのサイコミ君

本日は、「彩の国コミュニティ協議会」平成24年度定期総会を開催したところ、役員の方々をはじめ、会員の皆様には大変お忙しい中御出席いただき、厚く御礼を申し上げます。また、日頃防犯・防災活動、子どもの見守りなど、地域の特性を生かしたコミュニティづくりに取り組んでいる皆様の熱意と御尽力に心から敬意を表します。

さて、大きな震災等があると、世界の国々では略奪事件などが発生しています。しかし、日本では起こりませんでした。東日本大震災後、この国民性に対し世界中から絶賛の嵐が起きました。古くは魏志倭人伝の中にも、日本人のモラルが非常に高いこと、盗みをしていないこと、礼儀正しいことなどが書かれています。フランシスコ・ザビエルやシュリーマンも、日本を訪れた際に高い評価をしたと記録に残っています。それが日本という国であることを改めて思い返し、この国民性を取り戻していくことが私たちコミュニティ協議会の役割です。

また、家庭環境に恵まれなかった子どもでも、学校で立派な先生とめぐりあい、良い指導を受けることによって幸せな生き方をすることができます。たとえ先生に恵まれなかったとしても、地域の人々に恵まれていれば、その子どもは救われると思います。そのような意味でも、コミュニティ協議会が果たす役割は、非常に大きいものになってきています。各団体、企業など地域社会を支えていただいている皆様に、改めて感謝を申し上げます。

私は、普段から「自助・共助・公助」という言葉を紹介

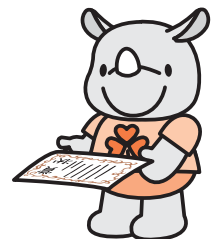
しています。全てを「公」が行おうとすると予算がいくらあっても足りません。また、共に助け合う仕組みづくりを行うことで社会は強くなっていくことができます。今日は、そんな地域の支え合いを進めている素晴らしい方をお呼びし、後ほどお話をいただきます。秩父市みやのかわ商店街において、様々な地域づくりのアイデアを実行している秩父市商店連盟連合会の島田会長です。県が支援を行っている「地域支え合いの仕組み」という事業があります。みやのかわ商店街はこの事業を初めて実施し、今では日本中から多くの人が視察に訪れるようになりました。これは、まず元気な高齢者が地域に登録し、困りごとを抱えた高齢者のところへ手伝いに行きます。そして謝礼として秩父市内で使える地域通貨を発行、商店街で使用することにより地域が元気になっていくというものです。

このような循環を地域につくる「地域支え合いの仕組み」はこの秩父市の事例から始まり、名前は様々ですが現在県内34の市町で行われています。この取組のように、コミュニティ協議会が地域から元気を起こす役割を果たしていけるよう、皆様とともに協力していきたいと思っています。

会員の皆様には、いつも大変お世話になっていることに改めて感謝を申し上げ、あいさつとさせていただきます。今後ともよろしくお願いいたします。

役員表彰・共助事例発表会

- ◎議案審議に先立ち、コミュニティ協議会の役員として20年以上にわたり尽力された方々に対する永年表彰を行いました。
- ◎また、「日本一の共助県づくりに向けて」埼玉県の取組を紹介したほか、秩父市商店連盟連合会の島田会長をお迎えし、「地域支え合いの仕組みについて」御講演をいただきました。（前ページ参照）



プキ
情報!

●サイコミ君が大宮アルディージャの試合を応援に行くよ!

物産販売や観光PRブースが設置されるほか、「ゆる玉応援団」のみんなとサイコミ君が大活躍♪

日時:平成24年9月15日(出) 16:00頃から ※18:30試合開始 場所:熊谷スポーツ文化公園陸上競技場(熊谷市上川上300)

